

ICTサービス安心・安全研究会

モバイルサービスの提供条件・端末に関する フォローアップ会合

事業者ヒアリング説明資料

2016年10月17日
株式会社ケイ・オプティコム

弊社のMVNOサービスに関する取組み

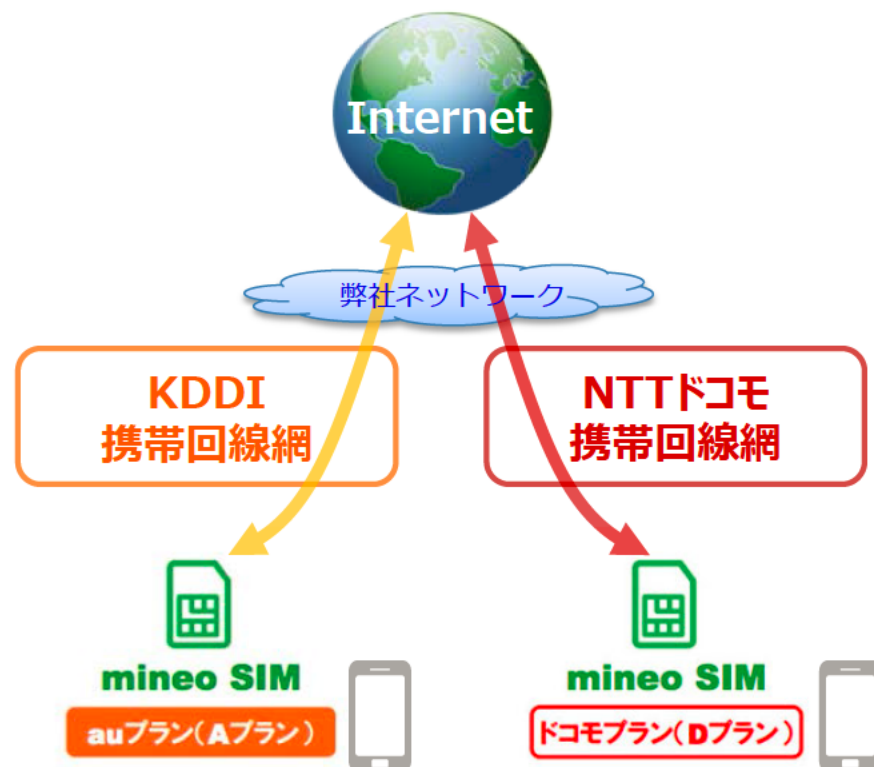
1

マイネオ

mineoというブランド名でMVNOサービスをH26.6より提供開始

NTTドコモ、KDDIの回線を選択可能な**マルチキャリア対応のMVNOとして活動中**

マルチキャリア対応イメージ



サービスコンセプト



『 **必要なものを必要なだけ** 』

本当に必要なものを適正価格でご提供するモバイルサービス



マルチキャリアに対応することで、

お客さまにとって自由な選択が可能に

SIMロック解除ガイドライン及び 端末購入補助ガイドラインに対する評価と課題

総務省殿によるガイドライン等の制度整備は、**利用者利便の向上**に加え、**MVNOの普及促進に対しても効果**があったと評価しております

SIMロック解除ガイドライン

- ✓ **SIMロック解除が義務付けられ、MVNOへの移行障壁は低下**
(実際の効果は、端末の割賦払いが完済する来年以降に顕在化するものと予想)

普及促進への効果

- ✓ **SIMロックに関して、解決すべき諸課題は残存**しているという認識



4

端末購入補助ガイドライン

- ✓ **過剰なキャッシュバック等が抑制**され、**MVNOへの関心が向上**
(MVNOの低廉な料金・サービスが、一般ユーザにも浸透)

普及促進への効果

- ✓ **下取りによる割引や固定系通信市場への影響**に関して、**課題は残存**しているという認識



5

～

8

SIMロックについては、**MNOにより対応が異なる**部分があり、特に以下に示すケースでは**MVNOが不利**になるだけでなく、**利用者にも混乱**を招いており、**早期に解決**すべきと考えます



課題解決に向けた取組みを推進していくことが重要と考えます

「**下取りによる割引**」はガイドラインの対象外※となっているため、**MNOは下取り価格を操作して「実質0円」の営業活動を実施**しており、**その取組みが適正なものか**、分析・検証すべきと考えます

MNO各社の端末下取り価格 注) 機種変更時の価格。弊社調べ (10/10時点)

機種	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	中古端末業者		(参考) Apple
				GEO	携帯商店	
iPhone6s Plus	30,000円	35,640円	36,000円	28,000~38,000円	29,000~36,000円	33,000円
iPhone6s	27,000円	32,400円	33,600円	23,000~33,000円	24,000~31,000円	29,500円
iPhone6 Plus	25,000円	27,000円	26,400円	19,000~26,000円	24,000~31,000円	25,000円
iPhone6	22,000円	24,840円	26,400円	17,000~23,000円	18,000~23,000円	20,000円
(1) iPhone5s	22,000円	22,680円	26,400円	9,000~12,000円	9,000円	9,000円
iPhone5c	6,000円	11,880円	12,000円	7,400~8,400円	3,000円	4,500円

適正性の分析・検証の観点

- (1) 中古端末業者と比べて **MNO各社が高額**である点
(一般買取価格の見方によっては、実質負担額0円以下に)
- (2) 端末の新機種・旧機種で、**同じ下取り価格が設定**されている点

ガイドラインの趣旨に沿っていない
不適切な行為となっていないか

分析・検証の結果、公正競争環境や利用者の公平性の観点で課題が明らかとなった場合には、その都度、制度的な対応を含めて早期にご検討いただくことが重要と考えます

※ 中古市場での一般的な買取価格を超える部分は補助対象

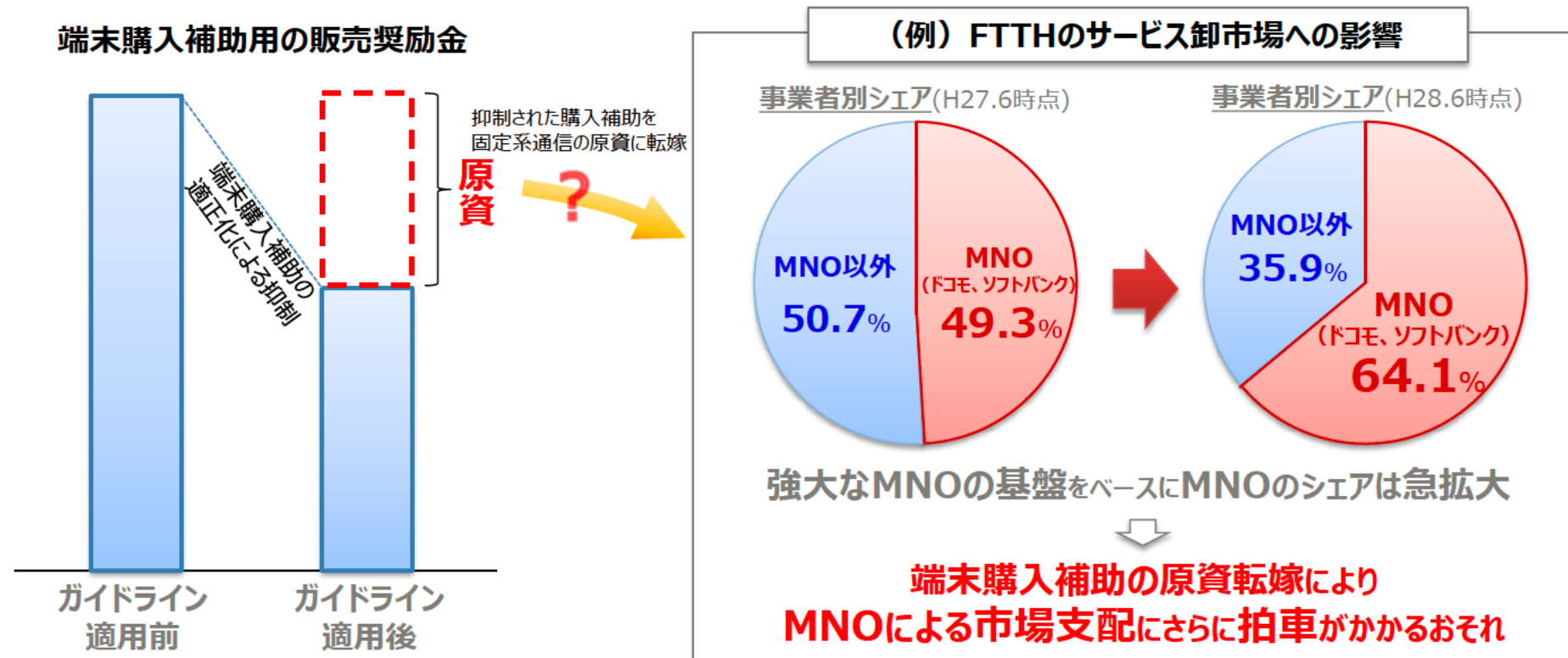
・NTTドコモとソフトバンクは**端末の下取りを条件**とした「**実質0円**」を前面に出して**訴求**

構成員限り

・KDDIは前面には「実質0円」を訴求していないが、**リンクをたどると「実質0円」の記載**あり

構成員限り

MNOは移動系通信で得た莫大な利益をベースに、固定系通信をセット販売しており、抑制された購入補助がその原資に転嫁されると、固定系通信市場に与える影響は大きいと考えます



固定系通信市場への影響を分析・検証し、公正競争環境の観点で課題が明らかとなった場合、制度的な対応を含めて早期にご検討いただくことが重要と考えます

過剰なキャッシュバックによる営業活動が横行（端末購入補助の原資を転嫁？）

構成員限り

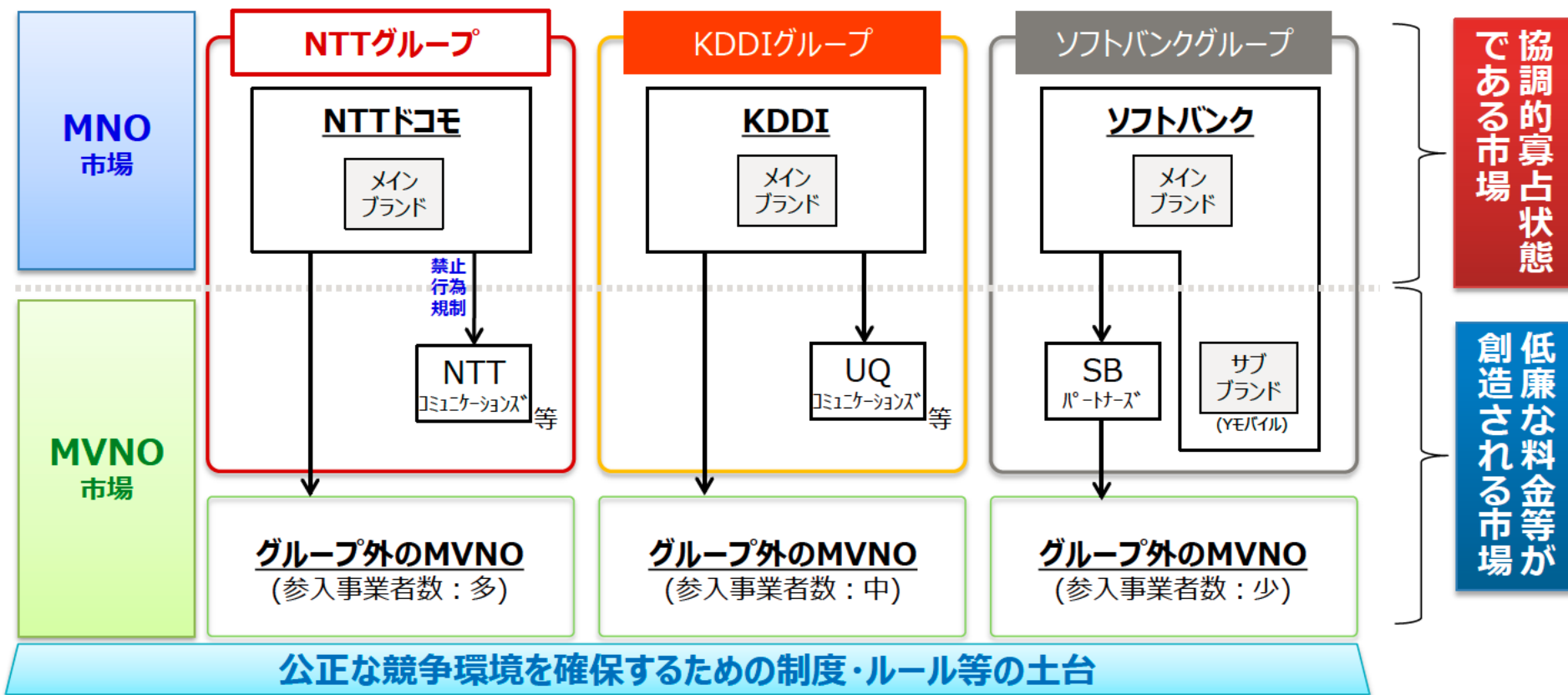
代理店の営業活動により、**公正な競争環境が阻害**されるおそれ

⇒ **営業現場での実態を把握した上で、固定系通信市場への影響を分析・検証**することが重要

MVNOの競争環境の動向

MVNO市場はこれまで**多くのMVNO事業者が参入・互いに競争**することで、**低廉な料金・多様なサービスが創造**されており、**利用者の利便性向上にも貢献**したと考えております

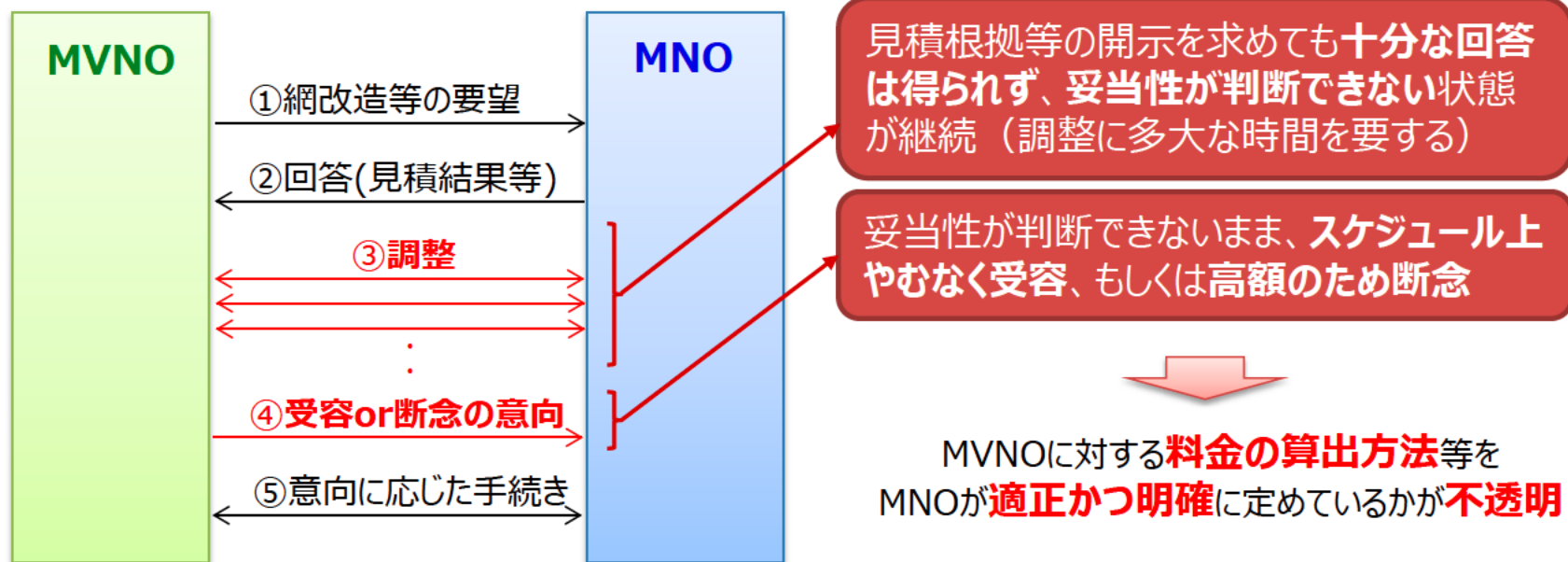
携帯市場に関する全体像（対象はSIMカード型、図は弊社イメージ）



一方、携帯市場におけるMVNOのシェアは数%であり、普及促進に向けた取組みは今後も重要

MNOとMVNOは**情報の非対称性を有する関係**にあり、**MNOは交渉上の優位な立場**にある中で、**MNOから十分な情報開示がないまま、MVNO側が受容もしくは断念するしかない**ケースがあります

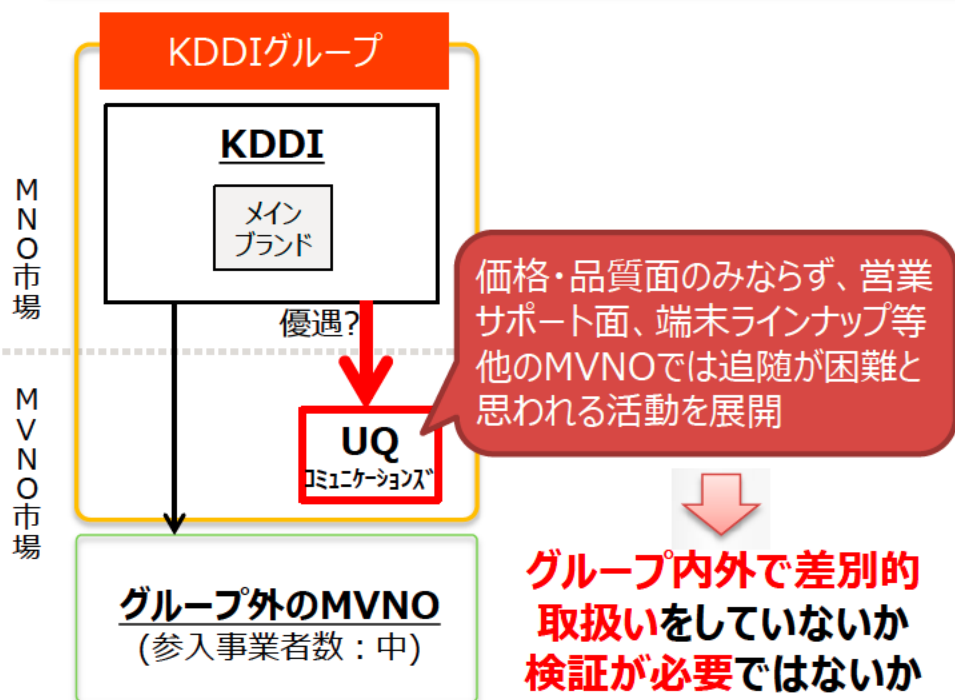
MNOから提示された料金に対して
MVNOが妥当性を検証できないケース



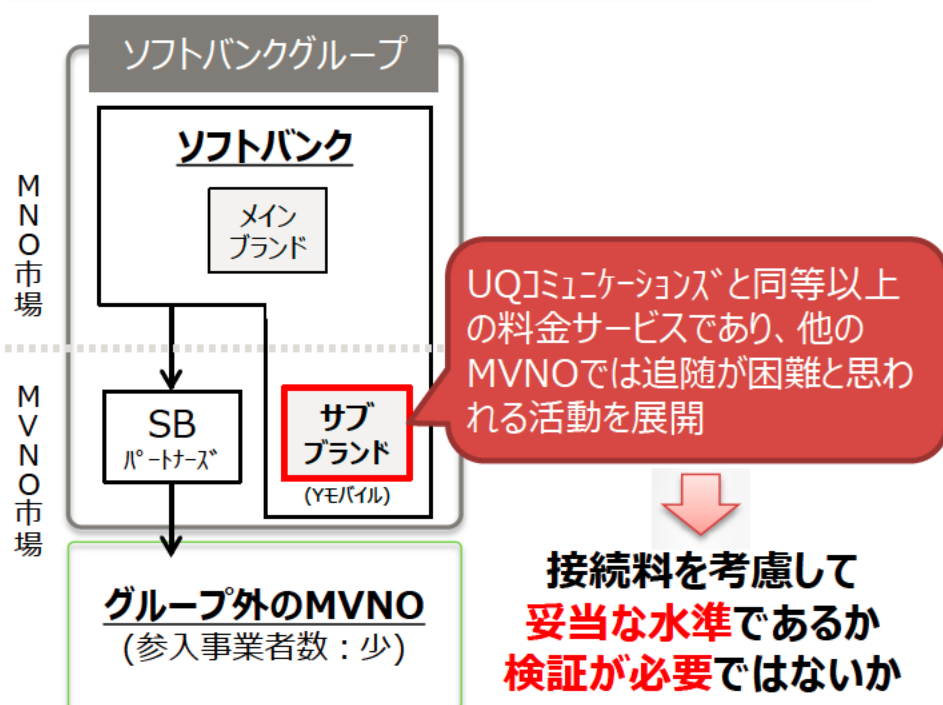
事業者間協議を円滑に行うためには、MNOは早期の情報開示を徹底するなど、
情報の非対称性を軽減する取組みが不可欠と考えます

一部MNOの子会社やサブブランドは、MVNOでは成し得ないような料金・サービスを展開しており、MVNO市場がMNOによる協調的寡占状態になってしまうことが懸念されます

グループ内優遇の懸念



MNOのサブブランドへの懸念



グループ外のMVNOからすれば、MNOの市場支配力は強大であることから、引き続きMNO自身とそのグループ会社に対する監視を強化していくことが重要と考えます